



73期生のみなさんへ

附中での最高学年の年を迎えました。あらゆる行事や活動において、後輩たちを引っ張っていき、手本となる立場です。また卒業後の進路に向けて一人一人が自分の生き方について考える一年でもあります。そして、みなさんにとって、一日がもう繰り返すことのない一日になります。それぞれの行事や活動に積極的に参加し、かけがえない思い出という宝物をたくさん手に入れて欲しいと思います。

現在、コロナウイルスによる前代未聞の事態が続き、皆さんも戸惑いや不安、ストレスを感じていることでしょう。今まで当たり前だった日々が、とても恵まれた、自分にとってかけがえないものであったということを実感しているのではないのでしょうか。友人と毎日会える、学校で勉強や部活ができる中学校での残りの日々が何もできずに減っていく。修学旅行は、夏の大会は、進路はどうなるのだろうか。色々なことを先延ばしにして、今はただ待機することしかできない。改めて考えてみると、先が見えない不安を感じることに思います。

先生たちも同じ思いです。日々変化する世間の状況下、日程ややるべきことが二転三転することで、皆さんに情報を伝えるタイミングと内容が非常に難しく、そして心苦しくも思います。

しかしこのような状況の中でもできることはあるはず。「あれが無い、これが無い」と言ったところで現状は改善されません。今あるものを最大限活用して、1年後、「もっと早く考えていれば」「あの頃こうしていれば」という後悔のないよう、今できることを取り組んでいってください。もちろん健康第一で、一日一日を、一瞬一瞬を大切に過ごしていきましょう。

“もしもこの世が喜びばかりなら、人は決して勇気と忍耐を学ばないでしょう。” - ヘレン・ケラー -

・3学年担当一覧

国語	小林	社会	赤松・西邑	技家	浅野・大野
数学	塩田・鴨	体育	三好・森田	美術	前田
理科	岸上・中塚	音楽	内兼久	英語	岡本・キース

※二重下線は担任、下線は学年担当

73期生 学年目標 ※IBの学習者像より

「バランス」…知性、身体、心のバランス感覚を大切にしよう (こんな時期だからこそ)

「心を開く」…自他の考えや行動を理解し、それぞれの価値観を尊重する。(それぞれの進路選択)

「振り返り」…先輩から受け継いだものを、更に高められる集団へ(学校のリーダーとしての自覚)

保護者の皆様へ

先の見えない日々が続く中、学校として今私たちができることが何かを日々考えさせられます。各家庭におかれましても状況は様々ですが、きっと同じ思いだと思います。今までの日常とは異なる中で、変わるもの、また変わらず伝えていかなければならないこと。これらを踏まえ、より一層、保護者・学校が一丸となってお子様の指導、支援にあたっていく必要があると感じております。どんな状況でも自分たちの明るい未来をのぞみ、精一杯進路選択へ力を発揮できるよう支援していきたいと思っています。お力添えの程よろしくお願い致します。